

「お話を 読む」②

なまえ

ある日、小さな どうぶつえんで  
生まれた赤ちゃんの ゾウがいまし  
た。この赤ちゃんの ゾウは、ほかの  
子たちとは ちがって、とても 小  
かったのです。

どうぶつえんの しいくいんたち  
は、小さなゾウの せいちょうを 心  
ぱい していました。しかし、小さな  
ゾウは けっ心を かため、自分が  
つよく なるために まい日 どりよ  
く しました。小さなゾウは、自分  
を しんじ、何ど ころんでも、立ち上  
が って また あるき はじめること  
を きめたのです。

数か月後、小さなゾウは 大きくな  
り、まわりの どうぶつたちからも  
みとめられるようになりまし  
た。小 さなゾウは、じぶんが 強くなるため  
に ひつようなものは、あきらめない  
心の強さだと 知っていたのです。

① 文と おなじ ないようの  
きごうに ○を つけましょう。

ア 心ぱいした しいくいんたちは、小  
さなゾウを がんばって 大き  
そだてた。

イ 小さなゾウは、自分を しんじて  
あきらめずに がんばった。

ウ 数日後、小さなゾウは 大きくなり、  
まわりから みとめられた。

② このお話の つたえたい ないようは  
なんでしょうか？ きごうに ○を  
つけましょう。

ア あきらめないで がんばれる 心の  
たいせつさ。

イ 力のある 大きな 体の たいせつ  
さ。